

効果の上がる学習方法『学習の3段階理論』を身に着けよう

— 栃木刑務所での講演資料 —

開倫塾

塾長 林明夫

1. <はじめに>

- (1) 十数年前から、栃木市にある栃木刑務所で受刑者の皆様への教科教育の一環として、ほぼ年に1回、20分余りの講話をする機会をいただいています。
- (2) 大学時代に刑事政策を学んだものとして、受刑者教育にご協力する機会をいただけることは、この上ない名誉と考え、ありがたく感謝いたしています。
- (3) テーマは、「一生勉強、一生青春。効果の上がる学習の仕方を身に着け、多様な選択肢のある人生を歩もう。正常に機能する社会の形成に貢献しよう」です。



2. <学習の3段階理論>

- (1) では、「効果の上がる学習の仕方」とは、どのようなものでしょうか。
- (2) 私は、学習(勉強)を、「理解」「定着」「応用」の「3段階」に分け、それぞれの段階にふさわしい学習(勉強)の仕方を考えることをおすすめしています。
- (3) これが、私が考え、皆様におすすめしている「学習の3段階理論」です。これは、開倫塾独自の理論です。

3. <理解>

「学習」の「第1段階」は、「理解」です。「理解」とは、「うん、なるほど」とよくわかることです。「理解」には3つの場面があります。



(1) 「予習」での「理解」

- ① 初めて学ぶことは、授業の前に一度ゆっくり声を出して読んで「予習」。何が書いてあるかを知る。
- ② 意味のわからない語句があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書で調べる。
- ③ 「計算」や「問題」はノートに解く。

(2) 「授業」での「理解」

- ① 手を机の上に置き、先生の目を見て、お話を一語一語しっかり聞く。
- ② 大切なことは、しっかりノートにメモ。繰り返し読み、覚える。
- ③ 遅刻、欠席、早退をしない。おしゃべりや居眠りをしない。これらは、理解を著しく妨げるからです。

(3) 「復習」での「理解」

①学んだことを、もう一度学び直し、「理解」を深めるのが「復習」です。

②「教科書」や「ノート」をしっかりと読み直す。

③「計算」や「問題」は、もう一度解き直す。

* 「復習」すると、学んだことが「うん、なるほど」とよくわかり、「理解」が進みます。ですから、必ず「復習」を。



4. <定着>

「学習」の「第2段階」は、「定着」です。「定着」とは、一度「理解」したことを、すべて、スミからスミまで正確に身に着けることです。

* 「定着」には、次の3つの「練習」が有効です。私は、この3つの練習に「定着のための3大練習」と名付けました。



(1) 「音読練習」

①スラスラとよく読めるようになるまで、大きな声を出して読む練習をする。

②大切なことは、何も見ないでいえるまでにする。

③これを、「暗誦(あんしょう)」といいます。

(2) 「書き取り練習」

①よく書けなそうな語句は、筆順も含めて、正確に書けるまで繰り返し書く練習をする。

②鉛筆やノート、紙がなければ、手の平に書く練習をする。

* 手で、空に向かって書く練習をする。

③きれいな、美しい文字で書く練習をする。

* 硬筆習字も大切です。



(3) 「計算・問題練習」

①一度解き、なぜそのような解答になるかがよく「理解」できた「計算」や「問題」は、同じものを何回も解き直し、条件反射で正解が出るまで「練習」を繰り返す。

②「 $2 \times 3 = 6$ 」のように、パッパッパッと正解が出るまでにする。

③大切な計算や問題ほど、この練習を繰り返してくださいね。

* 「練習は不可能を可能にする」。この「定着のための3大練習」は、学力を身に着けるのに絶大な威力を発揮します。ぜひ、挑戦を。

5. <応用>

「学習」の「第3段階」は、「応用」、「役立てること」です。

* この「応用」には、2つの場面、「理解」「定着」させたことを、

①「テストで役立てる」と、

②「社会で役立てる」があります。

(1) <テストで役立てる>

①「応用」とは、「理解」「定着」したことを用いて、「テストでよい点数(定期テストでは100点満点、入学試験や資格試験では合格点)」を取ることです。

②そのために役立つのが、その試験で過去に出た問題(過去問)や予想問題を、何回も(5 ~ 6



回は)解いてみることです。

③「間違いノート」や「まとめノート」を作ることもおすすめです。

(2)＜社会で役立てる＞

①社会に出てからが本当の勉強です。

②仕事や社会的活動をするために、よく生きるために、人生を充実させるために、「理解」「定着」させたことをお役立てください。

③そのために、学校で学習した教科書や教材、辞書、ノート、自学自習した本は決して処分しないで、「宝物」のように大切にし、一生涯、身近に置き、繰り返し「学び直し」をしましょう。



6. ＜何のために学ぶのか＞

(1)人は、何のために学ぶのでしょうか。

(2)それは、「多様な選択肢のある人生を歩む」ためではないでしょうか。

(3)①人は、「自覚」を持ち、「自分から進んで、主体的に学ばば学ぶ」ほど、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。

②また、「正常に機能する社会の形成に貢献する」ことができます。

③「自立」に向けた「自信」を育て、自分自身を大切な「価値」あるものと「自己評価」、充実した人生を歩むことができると考えます。



7. ＜最後に一言＞

(1)①「自己責任」「自助努力」

②「自分の未来は自分で切り開く」

③「ネバー・ギブアップ」「あきらめないで」

(2)①但し、これからは、社会とともに歩んで参りましょう。

②社会は、決して捨てたものではありません。

③必ず、皆様の味方になってくれます。

(3)「一生勉強、一生青春」です。



* 栃木刑務所は、女子受刑者専用の矯正施設です。栃木刑務所のような女子刑務所は、高等裁判所管轄地ごと、全国に 8 か所あるそうです。毎年 7 月は、法務省が主催する「社会を明るくする運動」月間です。

2021 年 6 月 3 日(木)5 時 11 分